

※このレポートは、正式な議事録の公開までに、当日の様子をできるだけ早くお伝えするために作成するものです。議事録の掲載後は削除します。

令和 8 年 1 月 30 日開催 第 12 回仙台市交通事業経営検討委員会開催レポート

1 開催概要

日 時： 令和 8 年 1 月 30 日(金) 15:00~16:45
場 所： 仙台市交通局本庁舎 7 階 研修室
出席委員： 鈴木高宏委員長、長江剛志副委員長、
大曾根学委員(オンライン)、榊原進委員、鈴木文彦委員、
成田由加里委員、福嶋路委員 [7 名(全員)出席]



2 議事内容について

(1)中間案に係るパブリックコメント結果と市バス運賃改定に係る市民説明会実施報告について

資料1、(別紙1)、(別紙2)により事務局説明

【委員からのご意見 抜粋】

- ・パブリックコメントの実施や本市の考えを含めてウェブサイトに掲載するというのは、大変良い取組み。これとは別に、FAQ(よくある質問)にも、経営状況等に係る簡単な質疑応答を掲載してはどうか。
- ・今後の「市バス路線のあり方」検討にあたっては、(別紙 1)27 番「市民や利用者が路線再編に対する予見可能性を持てるよう、具体的な廃止・減便の基準を設け、明記するべき」という意見は重要。他都市の交通事業者も路線再編時には明確に打ち出して説明している。理解を得るための見える化が必要。
- ・市バス運賃改定に係る説明会は 56 人の参加ということで、想像より少なく驚いた。今後の交通局の取組みの中で、路線のあり方検討が非常に重要になっていくが、市バスの問題を、市民一人一人に自分事と捉えていただく必要があると思う。

(2)仙台市交通事業経営計画 2026-2035(令和 8~17 年度)最終案について

資料2、3、4 により事務局説明

【委員からのご意見 抜粋】

- ・計画の進捗管理について、内部的なチェックと、ウェブサイトでの公表のほかにも、タウンミーティングなどを開催することで市民に交通局の取組みを分かりやすく伝える場があってもよいのではないか。
- ・令和 8 年 10 月以降のさらなる市バス運賃改定の可能性について、現時点で明記はできなくても、視野に入れていくべきではないか。30 年も運賃を硬直化させてしまうのではなく、車両購入費や修繕費の上昇に応じて、数年おきに見直しを行うべき。
- ・本編 8 ページや概要版の 5 ページの研修の写真について、女性運転士の写真も掲載するべきではないか。無意識のバイアスが懸念される。

3 その他

- ・各種広報にあたっては、交通局ウェブサイトでのチャットボット導入や、公式 LINE アカウントの作成、他団体イベントでの PR 等積極的に検討してほしい。
- ・交通局 100 周年イベントについては、1 年を通じて盛り上げてほしい
- ・女性職員の活躍する民間の運行事業者(しずてつジャストライン(株))がある。採用担当の幹部職員も女性ドライバー出身。参考にしてほしい。